

金型表面機能化技術とその展開

表面機能デザイン研究所 相澤 龍彦

工具鋼・ステンレス鋼・高クロム鋼製金型では、その大小に関わらずコーティングあるいは表面処理による表面硬度化が必要となる。ドイツでは熱処理からプラズマ表面処理への転換が早期に進み、特にパルスDCプラズマを用いたラジカル窒化による硬度化が利用されてきた。ここでは、ナノ窒化技術を用いて、硬度化に加え新しい金型表面機能化として、耐腐食性向上、高精度切削仕上げ性、テクスチャー面創成などを紹介し、型表面を機能化する重要性を理解いただく。

新たな型表面機能を創出するナノ窒化技術

ナノ窒化技術は窒素と水素混合ガスを入力として、400度C以下の低温プラズマイオン窒化により、厚さ100nm程度の過飽和窒素固溶層を形成する表面処理である(参考文献※1)。クロムあるいは鉄の窒化物を生成しないため、軽度なエアロラップで鏡面状態の型表面を創成できる。

この窒化層では、溶質窒素が均一に3〜4質量%の高濃度で分布するため、化学的に安定となる(※2)。後述するように、窒化物生成による溶質クロム濃度の低下が発生しないことに加え、型材の構成原子である鉄原子の電子を引き寄せるため、外部からの化学的な処理に対しても耐性がある(※3)。溶質窒素は、第1が高硬度化による型寿命延伸である。真ちゅう製あるいはSUS304製のフックの順送プレス成形では、多段の金型の中でトリ

高硬度化による型寿命延伸

ミンクパンチが最短寿命となり、金型全体の使用寿命を決定する。このパンチにナノ窒化を施し、表面硬度をパラメーターとしてパンチ摩耗幅へのナノ窒化による硬度の影響を調査した(※7)。

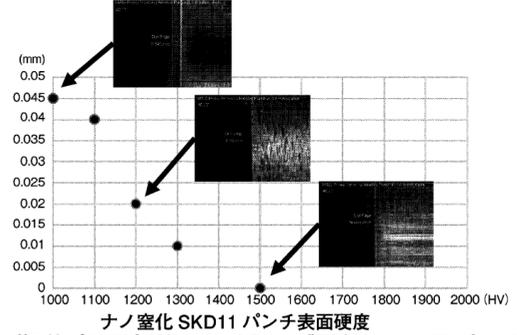


図1 順送プレス加工のトリミング工程におけるパンチ損傷幅へのナノ窒化パンチ表面硬度の影響(順送金型で連続160万回プレス実験後のパンチ摩耗を高倍率工具顕微鏡で測定)

酸性環境における耐腐食性向上

第2が酸性環境における耐腐食性向上である。射出成形用モールド金型では、ポリプロピレン(PP)樹脂であつても金型表面にガス焼きが生じることがある。より化学的に活性な樹脂を取り扱う場合には、機械的損傷よりも化学的損傷が問題となる。この化学的損傷では、型の主たる構成元素である鉄原子との化学反応が律速となり、不動態被膜を持つオーステナイト系ステンレス鋼であつても、腐食・孔食あるいはエッチング作用を防止することは難しい。ナノ窒化は、元の光沢面を維持して、十分な耐性を保持していることがわかる。興味深いのは、マスク部と非マスク部との境界で、窒素濃度が急峻に変化し、これを境にマスク部では腐食が進行し、非マスク部では腐食が生じないことである。これは、溶質窒素が非マスク部のSUS304材深部まで拡散し、前述の非窒素溶・窒素固溶境界が腐食領域・非腐食領域の境界となるためである(※8)。

高精度切削仕上げ性能向上

第3が高精度切削仕上げ性能の向上である。ナノ窒化工具鋼と同じような硬度を持つ超硬やセラミックスを、平均粗さ10μm以下の精度を担保して、実用切削速度範囲で表面テクスチャー加工することは容易ではない。高温で使用可能な光学素子成形用モールド金型では、平面フレネルレンズのように、急峻な形状変化を持つテクスチャーを型表面に形成する必要がある。また高精度切削で曲面状鏡面加工を行うケースも多い。ここでは窒素過飽和固溶した型素材を持つ、ダイヤモンド工具中の炭素への

無反応性を利用しよう(※10-12)。教科書にも記載されているように、鉄や鋼をダイヤモンド工具で加工すると、鉄と炭素との反応が生じ、鉄炭化物が容易に形成されるため、被加工材表面は荒れ、工具は大きく消耗する。鉄の電子構造が固溶窒素で拘束されると、炭素と反応する電子対がなくなり、前述の反応は進行せず、被加工材であるナノ窒化型材表面をダイヤモンド工具で切削加工できる。この原理を利用すると、表面に数質量%の溶質窒素濃度であれば、この窒素過飽和層がダイヤモンドチップで切削され、チップにも顕著な損傷が生じない。次に切削速度を2桁変化させ、同様に実験を行い、加工面の平均表面粗さを測定した。図3に示すように、実測した表面粗さは切削速度に依存せずに平均10μmを保持できることがわかった。

ヒーター応用例 Heater Application example

えっ!こんな所に

サイズも形状も自由自在

- 表面温度200℃まで可能です。
- 柔軟性があり、軽量タイプです。
- 1枚からオーダー承ります。

金型予熱用

金属・樹脂成型に欠かせない金型の予熱には着脱簡単なマグネットタイプを

※金型は200℃まで予熱できません。

オームヒーター株式会社

TEL 0120-800-255
TEL (052) 804-3140
FAX (052) 804-3146

https://www.om-heater.jp

Make our dreams by Technology

J-MAX

超ハイテン加工技術でクルマの電動化と軽量化に貢献

株式会社 J-MAX (旧:株式会社丸順)

東証:スタンダード市場
名証:メイン市場
証券コード: 3422

健康経営優良法人 2023

〒503-1601 岐阜県大垣市上石津町乙130-1
TEL:0584-46-3191(代) FAX:0584-46-3192
https://www.jp-jmax.co.jp/

HONESTON おまかせ下さい!! 特注金型部品・一品加工 "1個づくり"

想いをかたちにするモノづくり

鑄物構造物などの大物加工に特化 豊田・堤工場

小牧工場

- 主な設備
- CNC シングボーラー (安田工業)
- マンニングセンター 3台 (ヤマザキマザック)
- マンニングセンター (オークマ)
- ワイヤ放電加工機 2台 (三菱電機)
- CNC 平面研削盤 2台 (アマダ)
- 3次元測定機 (ミツトヨ)
- 非接触3次元デジタイザ (丸紅情報システムズ)
- 3次元CAD/CAMシステム (C&G) 他

岡崎工場

- 主な設備
- CNC 複合加工機 4台 (ヤマザキマザック)
- マンニングセンター (オークマ)
- ワイヤ放電加工機 2台 (三菱電機)
- CNC 円筒研削盤 (ジェイテクト)
- CNC 平面研削盤 2台 (アマダ・四本)
- 3次元測定機 (ミツトヨ)
- 3次元CAD/CAMシステム (C&G) 他

高精度・高品質の部品を短納期でお届けします。標準部品も即納体制を整えています。

本社 〒468-0055 名古屋市中区栄三丁目 501-2
小牧工場・営業所 〒485-0825 小牧市大字下東四反田 414-8
岡崎工場・営業所 〒444-2106 岡崎市真福寺町字高 20-18
豊田・堤工場 〒473-0911 豊田市本町石津133-1
静岡営業所 〒416-0906 静岡市清水区本町 117-8
神奈川営業所 〒243-0815 神奈川県厚木市東田130-1 松井産業南 2ビル103
オネストン・アメリカ・コーポレーション (ケンタッキー州キントン市) TEL(859)243-0252 (F) FAX(859)243-0255

オネストン株式会社
https://honeston.co.jp/

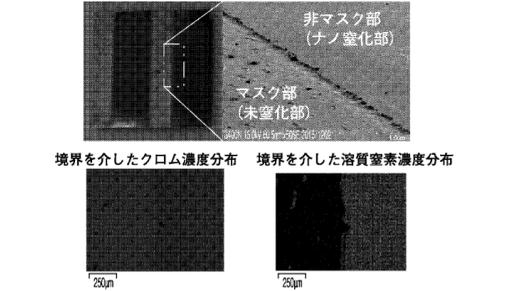


図2 マスキングした SUS304 試験片をナノ窒化後、20%塩酸に5分浸漬・洗浄後の表面性状、走査電子顕微鏡 (SEM) 像および窒素元素分布

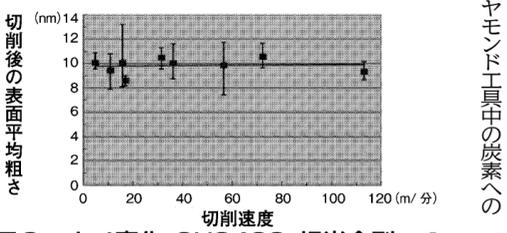


図3 ナノ窒化 SUS420 相当金型への鏡面加工

油圧プレスの見つめる技術の三起精工

あらゆる金型を効率良く仕上げる三起精工の反転式ダイスポッティングプレス&トライプレス

SDPシリーズ
反転式ダイスポッティングプレス

SDP-3525-300GI

【用途】
プラスチック&ダイカスト
金型仕上げ・修理

※反転レール改良型

DPMシリーズ
反転式ダイスポッティングプレス

DPM-4624-300ARG

【用途】
プレス金型
仕上げ・玉成・修理

STRシリーズ
反転式トライプレス

STR-4025-1000MARGI

【用途】
プレス金型
玉成・試作・連続生産

油圧プレス総合メーカー **Sanki 三起精工株式会社**

詳しくはカタログを請求下さい。
http://www.sanki-seiko.co.jp

本社・工場 〒326-0328 栃木県足利市県町890-4 TEL.0284-72-2002(代) FAX.0284-72-2070

名古屋営業所 〒463-0033 名古屋守山区森孝東2-120パウゼ藤が丘105 TEL.052-779-2431(代) FAX.052-779-2434

加工している所が見える

水溶性切削液を弾くフィルム

「まどすけ」

豊富なサイズ! 写真は丸形「MDS-240Φ」

☎ 無料サンプルあります。お気軽にお問い合わせください。

NMC 株式会社NMC Tel 042-345-1356
東京・神戸・福岡 本社:東京都小平市小川西町4-14-27

日本、フィリピン、インドネシア各拠点にて順送り金型の設計製作から、量産加工まで幅広い製品に対応します。

JAPAN PHILIPPINES INDONESIA

伊藤製作所の金型技術は国内最高水準と高い評価を頂いています。近年、その事業は日本にとどまらず、フィリピン、インドネシアにも進出。アジアの3つの拠点にネットワークを構築し、グローバルな事業展開を行っています。

「匠の技」見える化・デジタル化

順送り金型・精密プレス加工の専門メーカー

株式会社 伊藤製作所
〒512-8061 三重県四日市市広京町101番地
TEL.059-384-7111(代)
https://www.itoiseisakusho.co.jp/

静かに高送り

高送り加工を低抵抗に

- 両面4コーナー使いチップ
- ねじれ形状 ハイポジ切刃
- ポケット加工に最適
- 工具径:Φ12~Φ125

LOGIQ4FEED HIGH FEED MILLING

[ロジック4フィード]

生産性向上

04サイズチップ
カッター径:Φ12-52mm
切込深さ~0.8mm

08サイズチップ
カッター径:Φ50-125mm
切込深さ~2mm

ISCAR WORLD 探したい答えが手のひらに
ISCAR JAPAN 株式会社 www.iscar.com

参考文献

(※1) T. Aizawa, Ch. 3 in Stainless steels, IntechOpen, London, UK (2019) 31-50.

(※2) T. Katoh, T. Aizawa, T. Yamaguchi, Manufacturing Review 2(2015) 51-7.

(※3) 相澤龍彦, 素材材 61(29)(2020) 17-23.

(※4) A. Farghali, T. Aizawa, T. Yoshino, J. Nitrogen 2(2021) 244-258.

(※5) T. Aizawa, S-I. Yoshihara, SE ATUC J.Sc. Eng. (SJSE)1(2019) 13-20.

(※6) T. Aizawa, T. Shiratori, T. Yoshino, Y. Suzuki, T. Komatsu, Ch. 1 in: Stainless Steels, IntechOpen, London, UK (2021).

(※7) T. Aizawa, H. Morita, S-I. Kurazumi, AIP Conference Proceeding 2113, 060001 (2019) 1-6.

(※8) T. Aizawa, Bulletin, JSTP. 2(19) (2019) 17-21.

(※9) T. Shiratori, T. Aizawa, Y. Saito, K. Wasa, J. Metals 9, 396 (2019) 1-11.

(※10) T. Aizawa, T. Fukuda, Ch. 1 in: Top5 contributions in materials sciences: 6th Edition. Avid Science (2019) 2-23.

(※11) T. Aizawa, H. Morita, T. Fukuda, Procedia Manufacturing 47(2020) 725-731.

(※12) T. Aizawa, H. Morita, T. Fukuda, Key. Eng. Mater. 926 (2022) 1591-1600.

(※13) T. Aizawa, Y. Saito, H. Hasegawa, K. Wasa, Int. J. Automation Technology 14(2) (2020) 200-207.

(※14) T. Aizawa, Proc. 2nd GRGLM N Symposium (2022; Toyama) 21-22.

(※15) T. Aizawa, Y. Suzuki, T. Yoshino, T. Shiratori, J. Manuf. Mater. Process. 6, 49 (2022) 1-15.

(※16) T. Aizawa, T. Shiratori, Y. Suzuki, Ch. 17 In: Advances in 3D Printing, IntechOpen, London, UK (2023) 373-400.

(※17) T. Aizawa, H. Nakata, T. Nasu, Y. Nogami, J. Carbon Research. 8, 70 (2022) 1-13.

(※18) T. Aizawa, N. Ono, H. Nakata, Ch. 6 In: Heat Transfer - Fundamentals, Equipment and Applications. IntechOpen, London, UK (2023) 87-112.

(※19) T. Aizawa, H. Nakata, T. Nasu, Ch. 1 In: Heat Transfer, IntechOpen, London, UK (2023).

11月25日 金型の日

数多一数十百千級 形状転写用金型の創成

第4が数多一数十百千級の形状転写用金型の創成である(※13-14)。内視鏡手術用部品、医療器具、健康用品、飲食用機器部品などの表面は、特にコロナ性以降、抗菌性を有することが前提となっている。酸化チタン(TiO₂)などの抗菌性膜とともに、抗菌性膜としてのテクスチャー表面が注目されている。面創成が注目されている。幅10μm、ピッチ200μmの長方形パンチ群に対して、アスペクト比2.0以上の長方形マイクロ溝形成を行うことができた。この手法を利用すること

写すには、プレス金型・射出成形金型表面に耐久性を担保しつつ、高精度かつ簡便にマザーテクスチャーを創成する技術が必要となる。ここでは、ブドウ球菌などを想定して10μm幅の深いテクスチャーをチタン材に転写するパンチを創成してみよう。最初にパンチ表面に犠牲フィルムを印刷し、極短パルスレーザーを用いてナノ窒化するテクスチャーを描画し、ナノ窒化を施す。

図2に示したように、ナノ窒化部位・未窒化部位の境界で急峻に塗料分布が激変するため、その化学耐性あるいは硬度の変化を利用して、未窒化部位をエッチングあるいはドライ・ウェットプラストで除去すると、図4に示す幅10μm、ピッチ200μmの長方形のパンチが得られる。これをチタン材に転写した結果も図4に示す。幅10μm、ピッチ200μmの長方形パンチ群に対して、アスペクト比2.0以上の長方形マイクロ溝形成を行うことができた。

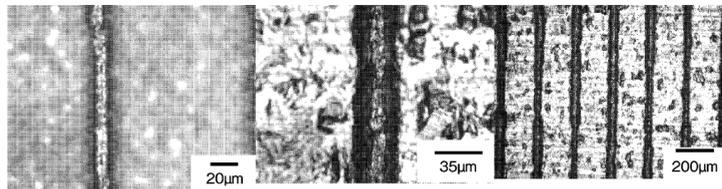


図4 ナノ窒化を利用したマイクロテクスチャーパンチの創成とチタン材への転写

で、切削工程なしに、自在な形状のヘッド、コアを有するパンチ、ダイを創成できる(※15-16)。試験的アをせん断面率80%の高精度打ち抜きに成功した。

金型表面は前述の力学的な因子・機械的な因子に加え、熱メカニシメントの効率化も必要である。適切な熱流束で加熱・冷却を実施し、省エネルギーな成形加工工程を実現することは、今日的な課題である。(※17)に示すようなグラフェンリッドを用いた型冷却(※18-19)で提案している高対流伝熱・高沸騰伝熱デバイスは、これからの金型表面機能化技術として有望である。また型内の高効率冷却を図る上でも、テクスチャー・ヒートパイプの利用も進めたい。

KTX株式会社

2005年 経済産業省「第1回ものづくり日本大賞 特別賞」受賞
2006年 経済産業省「元気なモノ作り中小企業300社」認定
2014年 経済産業省「グローバルニッチトップ企業100社」認定
2019年 業界初! 国際CSR機関 Eco Vadis「シルバーメダル」取得
2020年 経済産業省「地域未来牽引企業」選定

国内 本社・江南工場、MPMファクトリー、MPM成形工場、テクニカルセンター、犬山工場、長崎平戸ラボラトリーズ
海外 アメリカ、タイ、韓国、中国、インド

TEL 0587-54-5131 FAX 0587-54-8698

INTERMOLDなど3展

来年4月/インテックス大阪

2024年4月17日から19日までの3日間、大阪市住之江区のインテックス大阪で、金型や金属プレス加工に関する三つの展示会「INTERMOLD2024(第35回金型加工技術展)」「金型展2024」「金属プレス加工技術展2024」が開催される。

INTERMOLDと金型展は日本金型工業会とテレビ大阪が、金属プレス加工技術展は日本金属プレス工業協会が主催し、インターモールド振興会が運営する。3展で約4万人の来場を見込む。12月23日まで出展申し込みを受け付け中(満小間になり次第締め切り)。詳細はintermold.jp/top/へ。

DVD VIDEO 日刊工業新聞社の教育用映像シリーズ

金属加工シリーズ

2018年制作 **フライス加工の基礎** 上巻 41分 / 下巻 42分

2015年制作 **金属切削の基礎** 上巻 32分 / 下巻 35分

2016年制作 **旋盤加工の基礎** 上巻 36分 / 下巻 34分

2017年制作 **チップの選び方** 上巻 32分 / 下巻 38分

ご購入・お問合せ先 日刊工業新聞社 映像グループ TEL (03) 5644-7226 (平日10~17時) FAX (03) 5644-7215 e-mail video@media.nikkan.co.jp 〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1

タイトル	価格	注文数	金額
金属切削の基礎(上巻)	各巻 44,000円 (税込)	本	円
金属切削の基礎(下巻)		本	円
旋盤加工の基礎(上巻)		本	円
旋盤加工の基礎(下巻)		本	円
チップの選び方(上巻)		本	円
チップの選び方(下巻)		本	円
フライス加工の基礎(上巻)		本	円
フライス加工の基礎(下巻)		本	円
合計			

■注文書 コピーしたものを FAXしてください FAX03-5644-7215 年 月 日

●会社名 所属部課

●申込者 氏名 ふりがな 氏名 TEL FAX

●所在地 〒